

経営比較分析表

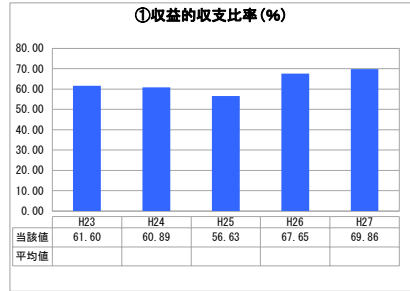
岐阜県 安八町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	98.54	88.44

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,251	18.16	839.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,019	4.82	3,115.98

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



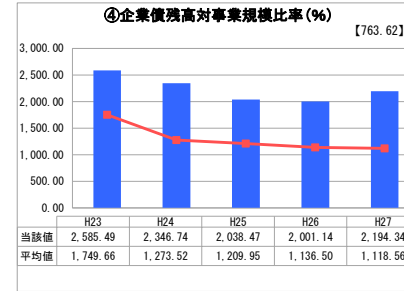
「単年度の収支」



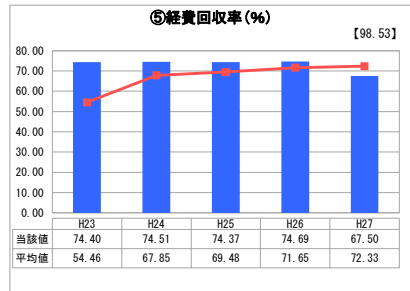
「累積欠損」



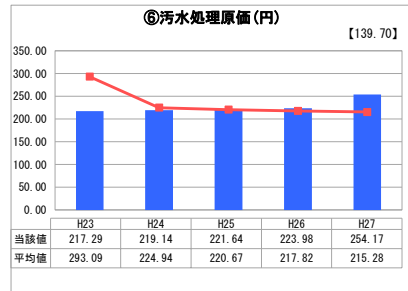
「支払能力」



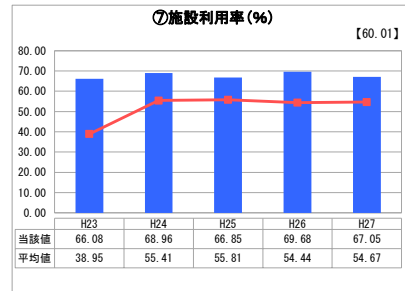
「債務残高」



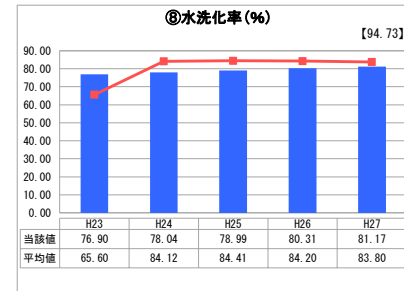
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

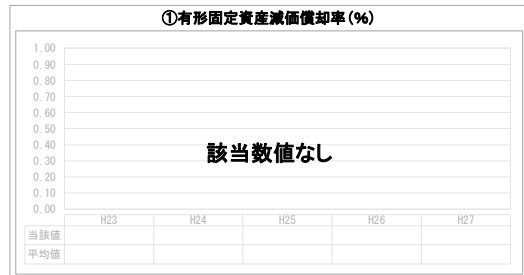


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

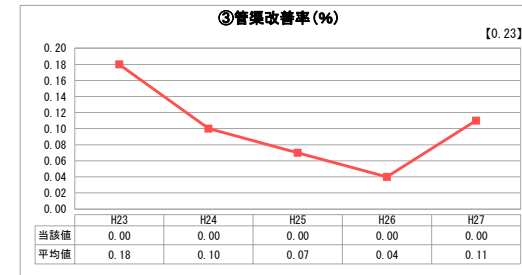
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

経営としては、収益的収支比率及び経費回収率が100%に満たず、企業債残高対事業規模比率も高水準であり、料金収入だけでは維持管理費や企業債償還金を賄えず、一般会計からの繰入れに依存せざるを得ない現状となっている。

この要因としては、下水道整備事業の規模から見ると短期間(平成3年度から平成21年度の19年間)で整備し、財源は自己財源(一般会計繰入金)が事業量からみると少額であったことにより、企業債借入れ額が多額となり、それによって毎年の企業債償還金の元金・利子の支出が多額となったことが考えられる。そのことによって、経営の状況に悪影響を及ぼしている。

よって、平成28年度に経営状況の検証を行い健全化にむけて経営戦略の策定を行うことにした。また、水洗化率については、類似団体平均値より低いのは、短時間で整備したことで、供用の告示からまだ年数がたっていないことが、要因だと思われる。

今後は、創意工夫(広報でのPR、戸別訪問等)をし、水洗化率向上に努めていく予定である。(目標値H37年度に90%) そのことが、経営の健全化に向けての第一歩だと考えている。

2. 老朽化の状況について

資産の現状としては、平成3年度から下水道事業開始したことにより、管路については、当面布設替えの必要性はないが、処理場については、第1期建設から第3期建設分(第1期H6,7,8・第2期H12,13・第3期H18,20施工)の内、第1期建設分が耐用年数を超えることから平成27年度に長寿命化計画(計画期間 H28年度からH32年度)の策定を行った。平成28年度より設備の長寿命化を図っていく予定である。

また、施設の点検を重視し、更新・修繕を必要最小限の費用でできるように努めていきたいと考えている。

全体総括

経営の現状としては、多額の企業債償還のために非常に厳しい状況であるが、平成28年度に策定の経営戦略の計画に準じられるよう収益の向上(水洗化率の向上・使用料の収納率の向上)、投資費用の削減(事業の効率化・事業の検証)に努めて行く予定である。

また、どうしても計画のとおりには遂行できない場合、投資方針の見直しや下水道使用料改定を視野に入れ会計全体を見直す経営計画の変更を行っていききたいと考えている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。